

第 61 回番組審議委員会議事録

1. 開催年月日 令和 4 年 12 月 7 日(水)午後 10 : 30～11 : 30

2. 開催場所 和歌山県田辺市宝来町 8-21 泉ビル 2 階

3. 委員の出席 委員総数 6 名 出席委員 5 名

出席委員の氏名 野村悠一郎、安達克典、橘智史、小倉拓、吉田光利

欠席委員の氏名 森下憲一

放送事業者側出席者氏名 泉清、生田奈穂、濱田由希子、安田正

リモート参加 安田豊

欠席者氏名 洞周作、大崎健志、角田圭三

議題 1) 局側挨拶（現状報告）

2) 議題

☐番組聴取

11 月 17 日(木)に放送した「お昼ですよ！」内で放送した「和歌山県へき地複式教育研究大会」のインタビューの様子を聴取、ご意見・ご感想

3) その他番組への質問・意見

4) 今後の放送に対する意見・要望

5) その他

局側挨拶・報告

1. 局側挨拶

泉：本日はありがとうございます。JCBA というコミュニティ放送局の協会がありまして、全国にもあるのですが近畿地区の連絡会となっています。設立以来ずっとおこなっております放送賞というものがあまして、各局の放送番組を部門ごとに出し合いながら競うものです。そこで FM TANABE が 3 部門で賞をいただきました。その中でも最優秀賞だったのが「弁慶記」です。審査員の方からも、“普通のコミュニティ放送局で作れるレベルの番組じゃない”とのお褒めのお言葉もいただきました。併せてギャラクシー賞にも応募したところ、上半期の入賞作品候補の 8 作品の中にも選ばれました。来年の 6 月に下半期とあわせて 16 作品の中から入賞作品が決まります。民報の放送局もありますので、コミュニティ放送局から選ばれることは、ほぼありません。評価も良くいただいております。60 話分の脚本を考え、声を収録し編集して、それを支えるクラウドファンディングから営業活動でなんとか 2 年ほどかけて作り上げた作品です。

良い番組を作れたという意味では、番組審議委員の皆さまのご意見があつての事だと思っています。今後ともよろしく願いいたします。

2. 議題

～番組聴取～

野村：僕も一度、小学校の複式授業を観させてもらった事がありますが、雰囲気良くてみんな家族のような感じを受けました。

橘：インタビューの音がすごく綺麗に聞こえるのが印象的でした。録音されているのですか？

生田：はい。スマートフォンのボイスメモで録音させていただいています。

安達：わたしはこの複式で育った一人ですけど、今回第 72 回ということで歴史ある大会で、先生方が日頃の授業を工夫してそれを発表するという。ついに ICT 活用のところまできたので、小規模校でも出来ることがこれから増えてくるのかなと思いました。わたしは 3 年生から複式になりまして、4 年生と一緒に授業を受けました。そして、3 年生だけど 4 年生の勉強もするという経験をさせてもらって、

途中ついていけるかなって思ったこともありましたが、なんとか進学出来ました。形はだいぶ変わったでしょうけど、まだ複式授業が続いているのですね。

野村：現場に行って取材されたのですね。県下一円から関係者が集まっていたのですか？

安田正：20～30 人ほどいらっしゃいました。

安達：学校の授業を見学したあとは研究の発表会も行われます。

野村：ICT ってレベルが高いですね。直接会って話すのとリモートでは間の取り方も違いますから難しいです。今の時代、小学生の頃から慣れておくのは良いですね。

泉：リアルでも大変なのにもっと大変でしょうね。でもいい経験になりますね。

安達：タイミングの取り方が難しかったり、カメラで映されて見られているので集中力がつきそうですね。

吉田：僕も小学校の時は複式でした。デメリットもあるのかもしれないですけど、小学校 1 年生から 6 年生までみんな兄弟のように一緒に遊ぶ出来て良い環境だったと思っています。あと一人ひとり見られている分集中できるので勉強出来る子が多かったですね。当時は

どこかの小学校と繋いで授業などはありませんでしたが、こういう取り組みをされて進化してて素晴らしいと思いました。

泉：全員が名前を知っている関係性で、コミュニケーションがとれるので良いですね。

小倉：番組音源を聴取した時は状況が分かりづらくて、後で授業の様子を補足いただいた内容を聴いて面白いなって思ったので、番組内でももっと説明あったら良かったなと感じました。

濱田：FM TANABE のインスタグラムにその時の様子を動画でアップしております。（動画を見てもらう）

小倉：これを見たら余計もっと細かい説明があったら、面白さが伝わって良かったなって思いますね。

生田：その通りですね。是非次の機会に活かしたいと思います。

小倉：あと、校長先生のインタビューの中で 1 年生は 1 人という紹介がありましたが、複式の構成がどうなのか、他の学年の人数も細かく聞いても良かったのかなと思いました。

泉：そうですね。

小倉：録音の音質は良かったのですが、指向性がないので周りの車の音とかが入っていたので、外付けマイクを使うか音の入りづらい場

所で録音しても良かったのかなと思いました。

安田正：本来は学校の中で収録させていただく予定だったのですが、校長先生自ら歩道に立って車で学校に集まってくる関係者の方々の誘導をされていました。その場所まで行って、近くにある安全な広場でインタビューさせてもらったのですが、すぐそばを車が走るような環境だったのでわたしたちも想定外だったという状況ではありませんでした。

泉：将来的には指向性マイクを使えるようになりたいと思います。

安田豊：今お話しがあったように ICT 教育がどんどん進んでいて、田辺市もタブレット端末が小中学生全員配布されました。その辺りの勉強会を教育委員会の方々と、わたしも月一回一緒に取り組んでおります。今回の活動も教育委員会が主体ですけども、トーク会でサポートさせていただいてまして FM TANABE でも取材させていただいたという状況です。他にもいくつか類似の試みをしておりますので、また適宜 FM TANABE でも取材を行いご紹介できればと思っています。直近では、田辺第二小学校に能の先生が来られて 6 年生を対象に「能教室」を行います。その様子も FM TANABE で取材する予定になっております。引き続き、よろしくお願いいたします。

3.その他番組への質問・意見

特になし

4.今後の放送に対する意見・要望

安達：放送賞をいただいたというお話がありましたが、ひと番組ひと番組の積み重ねの総合評価だと思いますので、これからも丁寧な番組作りをしていただけたらと思います。

吉田：放送賞受賞おめでとうございます。「弁慶記」のように作り込んだ番組と、地域特有の放送と並行して受賞されているというのは素晴らしいことだと思います。これからも応援しています。

5.審議機関の答申または改善意見に対して採った措置及びその年月日

特になし

6.審議機関の答申または意見の概要の公表方法

内容：審議内容について公表

方法：ホームページ掲載 (<http://www.fm885.jp/>)

7.その他参考事項

特になし